



第3回さいたま市セーフコミュニティデータ分析検討会議を開催しました。

データ分析検討会議とは、各対策委員会で検討した、重点課題、取組、及び指標について、学識経験者にデータとの結びつきがあるかを確認していただき、助言を頂く場となります。

今回は学識経験者として、日本セーフコミュニティ推進機構代表の白石陽子先生、浦和学院高校教頭の三上先生をお招きし、その他データを提供している市の所管課が出席しました。

主な指摘・質問事項

高齢者の安全対策委員会

- ・傾聴を行えば、要介護者への虐待が減少する論理には、ストレスが減って被介護者にやさしくなれた等の論理が必要。
- ・自転車事故件数が唐突に出てきているため、自転車が多く使われている説明が欲しい。

自転車の安全対策委員会

- ・なぜ自転車に特化した対策委員会を開いているか説明が必要。
- ・交差点の事故について、相手方の悪い点も示した方がよい。

自殺予防対策委員会

- ・学習支援教室がさいたま市でどれくらいの規模で行われているのか
- ・死亡原因順位について人数を確認し、若者に取組を行う説明をした方がよい

子どもの安全対策委員会

- ・転倒と転落のデータは合わせて説明する方法もある。
- ・母子手帳の認知度は、健診に来ていない親の認知度も確認した方がよい。
- ・データが10区の中で1区に限定されている場合、説明できるようにした方がよい。

DV防止対策委員会

- ・DV相談件数について男性の取扱いについて説明した方がよい
- ・デートDVの対象者は限定されているのか
- ・外国人の相談体制が不十分であるという重点課題2について主観的な感想にデータを結びつけているように感じる。



横浜市栄区・京都府亀岡市現地審査に参加しました。

亀岡市は、平成20年に国内で初めての認証を取得し、10年の活動を行ってきた自治体です。また、横浜市栄区は、平成23年に第1回目の認証を取得し、9年の活動を行ってきた自治体です。両自治体とも再認証の現地審査ということもあり、当市の活動と比較すると取組が進んでいる状況でした。特に印象的だったのは、亀岡市の高齢者の安全対策委員会での元気アップ体操教室です。音楽を用いて体を動かすことで体だけでなく、頭と心の体操にもなります。当市もこのような取組を参考に更なる取組の具体化を検討していきたいです。



【亀岡市：審査員講評】



【亀岡市：元気アップ体操教室】



【横浜市栄区：啓発物】